

令和3年度 静岡市中小企業アクセラレーションDX支援事業 (中小企業における事業活動の加速化に向けた成長支援事業) —概要—

主催者 : 静岡市
事業受託者: 株式会社レッドジャーニー
<https://redjourney.jp/>

事業趣旨

- 市内総生産を維持・拡大し、市内雇用を守っていくためには、将来性のある中小企業を発掘するとともに、中小企業の順調な成長を促し、地域経済をけん引する企業に成熟するための支援施策を充実・強化していく必要がある。
- 本事業では「静岡市の経済をけん引し、雇用を生み出す企業」を輩出することを目的に、デジタル技術を活用して業務変革を行う市内中小企業の事業活動を加速化し、静岡市創生の実現を図る。

事業方針

- (1) 静岡市の経済を牽引し、雇用を生み出す企業の輩出を目指す
- (2) 中小企業の経営課題に対して、デジタル技術を活用した業務変革を支援する
- (3) 中小企業の主体的且つ能動的な取り組みのもと、事業活動の加速化を図る

全体スケジュール

10月	募集・選定期間 ※応募期限 9月24日(金)
11月	メンタリング定例会①(初期ワークショップ)
12月	メンタリング定例会②(定期状況共有会)
1月	メンタリング定例会③(定期状況共有会)
2月	メンタリング定例会④(定期状況共有会)
3月	メンタリング定例会⑤(関係先への報告会) ※以降、2022年6月頃までフォロー

応募要件

- (1) 市内に所在する中小企業であること。
- (2) 「静岡市の経済を牽引し、雇用を生み出す企業」に向け、明確な経営理念や事業活動のビジョンを有しており、成長意欲があること。
- (3) 既に事業活動を開始しており、事業内容が確立されている状態にある企業であること。
- (4) 現状下において成長阻害要因の課題があり、デジタル技術の活用により、事業・業務変革が可能と委託者等が判断できる企業であること。
- (5) 短・中期的な成果達成に向け、今後の将来性や実現性が見込めると判断できる企業であること。

令和3年度 静岡市中小企業アクセラレーションDX支援事業 (中小企業における事業活動の加速化に向けた成長支援事業) —支援イメージ—

主催者 : 静岡市
事業受託者: 株式会社レッドジャーニー
<https://redjourney.jp/>

ワークショップの開催

状況の共有および助言

最終報告会の開催

メンタリング定例会①

メンタリング定例会②

メンタリング定例会③

メンタリング定例会④

メンタリング定例会⑤

初期立ち上げ

北極星を描き、仮説キャンバスで最初の仮説立案まで行う

仮説検証

立案した仮説を元に顧客インタビューや社内ヒアリングを実施する

プロトタイプ検証

プロトタイプ制作から再度顧客インタビュー、ヒアリングを実施して構想をまとめる

事業案の発表

各チームでまとめた事業構想を関係者に発表し、今後についての意思決定を行う

コンセプト

「静岡市の経済を牽引し、雇用を生み出す企業」を輩出する”ために持続可能性があり、かつ価値創出可能な事業・業務変革への支援を本プログラムを通じて行う。

本プログラムでは、あくまで参加各社が当事者となって進めていけることを狙ったプログラム、支援体制を取る。そのために、

・「一休さんの屏風のトラ」のようなDXに陥らないよう、自社の「目指したい姿」を捉えた上で、何を変革の価値として置くのかの仮説を立てて、取り組みを進める。

・実際には最初に立てた仮説通りに成果があがることは少ないため、仮説検証を活動の中心とにおいて、その活動結果からの学びを得て、事業・業務変革の具体性を高めていくアジャイル的アプローチを取る。このための伴走支援を行う。

進め方

- ・基本的に個社ごとに仮説を立て、個社ごとのプランを立てて進める
- ・個社ごとの状況を月1の定例会で確認し、助言を行う
- ・定例会以外で各個社ごとの個別メンタリングを必要に応じて行う

- ・オンラインツールの利用に不慣れなケースが想定されるため、ワーク時は講師のほかにアシスタントを置き、適宜フォローを個別に行う
- ・専門用語をそのまま用いることを避け、参加にあたっての条件・前提を置かないようにする(ただし、基本的なパソコン及びブラウザ操作は求める)

- ・プログラム期間終了後も、ベストエフォートにて参加社からの相談に応える(2022年6月頃まで)
- ・研修期間終了後の支援として、レッドジャーニーが運営に参画している任意団体「しずおかDXコンソーシアム」(<https://shizuoka-dx.org/>)がその受け皿となるようフォローを行う。